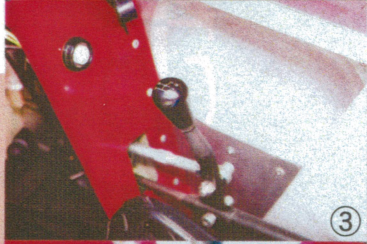




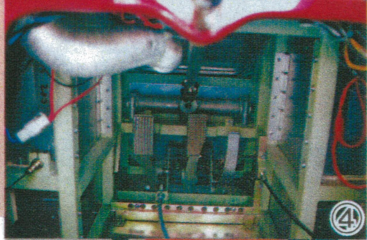
①



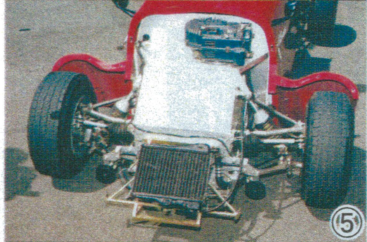
②



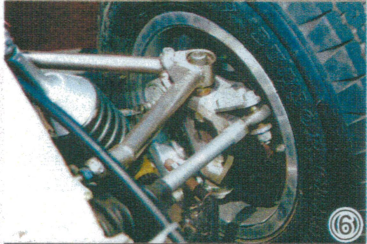
③



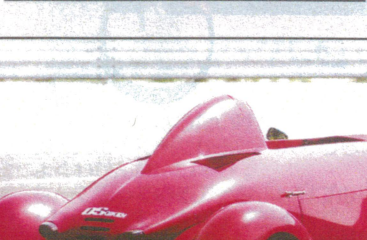
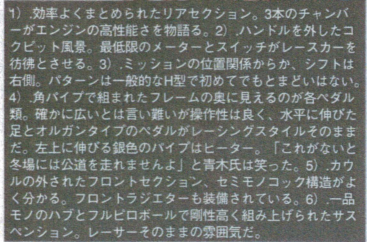
④



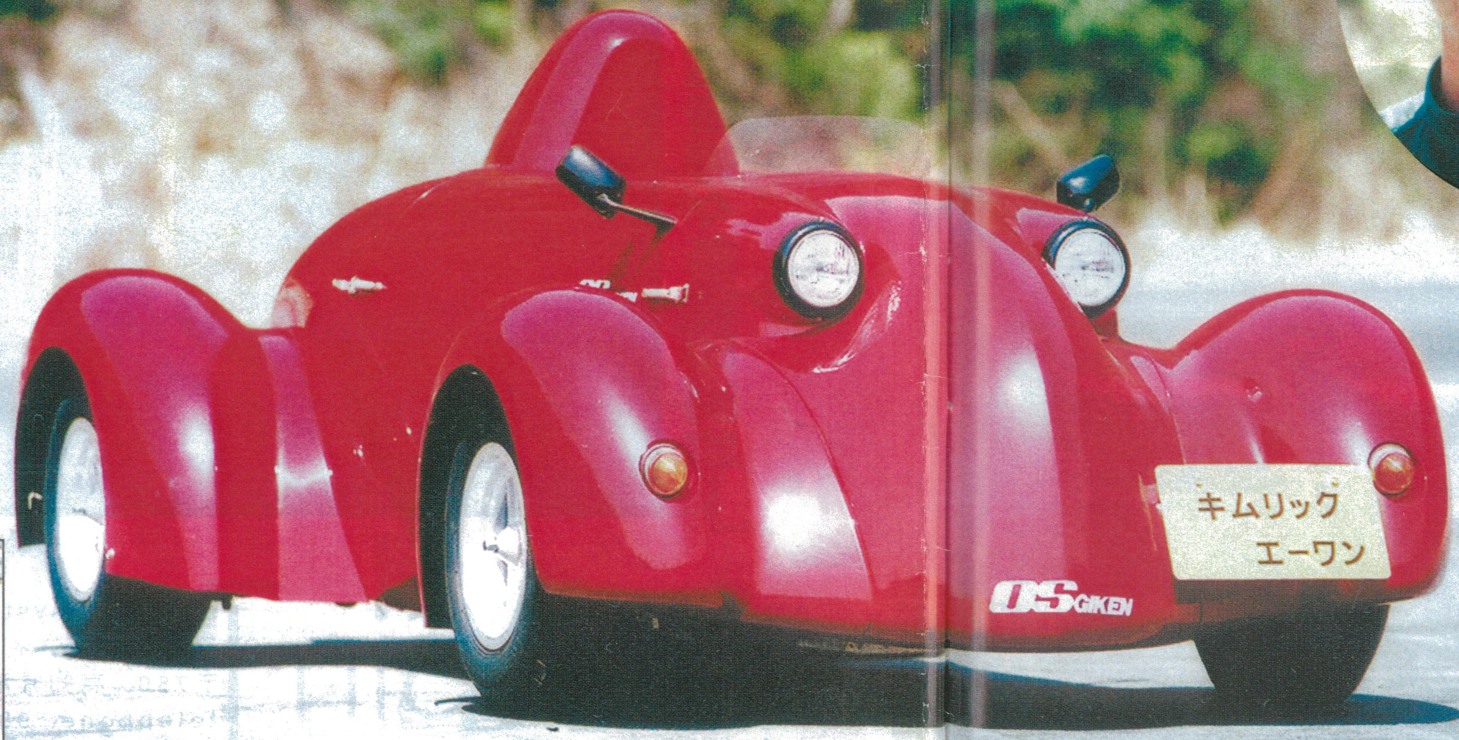
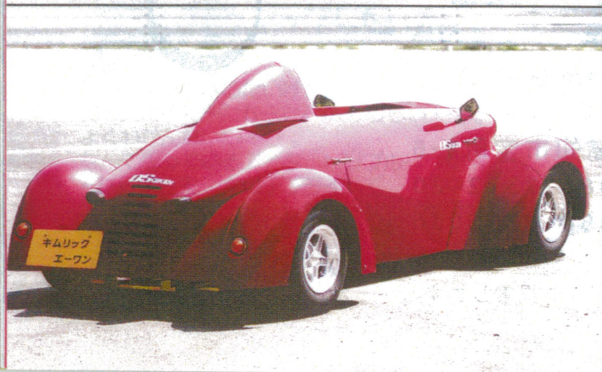
⑤



⑥



赤いボディが好天のモーターランドに映える。プロトタイプといえど完成度は高く、仕上がりの良さは息を呑む。年内には高知市内を走る姿が自覚されるかも知れない。



キムリック
エーワン

OS Giken

夢の名は「キムリックエーワン」

はたして・・・と、懐疑心を持って見つめる。その前を駆け抜けるキムリック・エーワンの動はクイックかつ確実で、「試作車の発表会だ」との思いは最初から吹き飛ばされてしまった。今や懐かしくなってきた感のある2サイクルエンジン・チャンバーの乾いた音を立てて走る姿は、市販の完成車よりはレーシングカーのそれに近く、激しいブレーキングからターニングにも姿勢の乱れはなく、立ち上がりで時折バースライドまで見せる運動性能のさ（もちろん青木氏のテクニックもあるのだ・・・）に驚かされたと共に、活き活きと走姿に、20年来憧れ親しんだF1マシンのイメージをそのままに公道を走りたいと願う青木氏が強く伝わってくるようだ。そしてもう一つ、今回の発表会にはマスコミ何社が訪れて、取材の際、運転しながらレポートをする設定でレポーターが乗り込んで、リールのために駐車場を何周も低速走行を繰り返していたのだが、そうでなくとも神経質なずのチューンされた2サイクルエンジンは、トラブルも起こさず（クラッチミートでエーストもあつたが、これは「愛敬」に従順に回っていたのだ）。ステアリングを外して乗降する「儀式」にはよとしたコックが必要だが、一旦座ってしまえば意外なほど圧迫感はなく、目線の低さと車のコンパクトさは新鮮で、そのまま街中に走出した衝動に駆られてしまった。

その日、見事に晴れ上がったモーターランド。なかでは、6年越しの夢が走り出そうとした。夢の名は「キムリック・エーワン」。個人に完全自作の一人乗りスポーツカーだ。車は「買う物」と思い込んでいた常識に挑戦してこの車を完成させたのは、高知市南金田町青木健一郎氏。



キムリック
エーワン

足周りは、青木氏が「車の位置付けはスポーツレーシングカーのカテゴリに入ります」と言う通り、20年のレース活動の経験を活かした4輪ダブルウィッシュボーンを採用。可動部分をすべてピロボールで固めたクイック&スバルタン仕上がりは、そのままサーキットに持ち込めるハイレベルなもので、レース日常での使用にも配慮がされ、ヒーターも装備されている。

車体の構成について簡単に説明しておこう。フレームは25mmの角パイプにアルミ板を組み合わせたセミノック構造で、エンジン・ミッションを座席後部に配したミッドシップレイアウト。デザイン上の理由でフロント部に穴を開けたくなかつたため、ラジエターはエンジン後部に配置。冷却に不安があつたので、フロントカウル内にもう一つラジエターを内蔵するが、現時点では冷却能力は充分足りていると、日常での使用にも配慮がされ、ヒーターも装備されている。



設計だけで1年以上、製作を含めると6年の歳月をかけたプロトタイプの完成を喜ぶ青木健一郎氏。最終的には数十万円の資財を投入していったという。

最も注目されるのは、走行性能の高さと扱いの平易さだ。運動性能を上げるためにレーシングカー並の追随性とグリップ性能を求めた前後のダブルウィッシュボーンサスペンションは、その高性能を活かすためには基本となるフレームにも高い剛性を要求するはずで、もしフレームが体裁を整えられなければ、その役目を十分に果たすとは到底思えない。

カーそのものといつて良い。ブレーキも4輪ディスクを採用。倍力装置は装備されていないが車重275kgには充分な制動力を確保している。全長3160mm×全幅1420mmは軽自動車のサイズで、エンジンも現在は500ccなので軽自動車としての登録を予定している。敷居が高いのでは？と思われる登録作業についても「憶える事はないですよ。何回でも足を運んで、教えて貰いながらやればできるはずですよ」と、坦々としている。

本物のスポーツレーシングカーが高知で産声を上げた。年内にナンバー取得。将来はカロッツェリアにとベテランレーサーの夢は加速する。

キムリック エーワン (cymric Aone)			車両諸元
排気量	500cc	全高	1,020mm
ボア×ストローク	60mm×58mm	ホイールベース	2,060mm
出力	60馬力/8,000回転	トレッド	1,200mm
ギア比	ロー・2.200、セカンド・1.350、サード・1.043、トップ・0.880	地上高	100mm
0~400m	15秒	重量	275kg
最高速度	205km/h	定員	1名
ボディ	FRP	フロントオーバーハング	570mm
シャーシ	25mmパイプをメインに構成したセミノック	ブレーキ	四輪ディスク
全長	3,160mm	サスペンション	前後ダブルウィッシュボーン
全幅	1,420mm	ホイール	アルミ5本スポーク 10×5.5J